会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度第1回愛川町町民参加推進会議		
事務局 (担当課)		総務部住民協働課 内線3243		
開催日時		令和6年9月30日(月) 午後1時～午後2時45分		
開催場所		愛川町役場 2階201会議室		
出席者	委員	10人 (別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	4人 (総務部長、住民協働課長、ほか2人)		
公開の可否		☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		/		
会議次第		1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 (1) 令和5年度自治基本条例の運用状況について (2) 令和6年度あいかわ町民活動応援事業について (協働事業審査部会報告) (3) あいかわ町民活動サポートセンターの運営状況について (4) その他 4 閉 会		

審 議 経 過

(1 / 5)

※主な内容は次のとおり

(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 令和5年度自治基本条例の運用状況について

●【事務局説明】 (「資料1」について説明)

【質疑応答】

○【A委員】 女性が審議会等へ参画することによって変化があったことなど、その内容もこの会議の中で報告があるといいのではないか。

● 男女共同参画基本計画に関する進捗状況を各課等に調査した結果に基づき、次の会議には、具体的な事例を報告に加えるなど、反映を検討していきたい。

○【A委員】 審議会等の傍聴者数について、令和2年度が特に減少しているが、新型コロナウイルスが要因なのか。

● 令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、書面会議での開催が多かったことが、傍聴者数減少の大きな理由である。

○【A委員】 パブリック・コメントに関する報告で、意見数は分かったが、その意見が具体的にどのように反映されたのか分かるといいのではないか。

● 住民の方から出た意見は、反映できる意見は反映し、反映が難しい意見の場合は、その理由を明記するなど、結果の公表を行っており、町の考えを付して、ホームペ

審 議 経 過

(2 / 5)

ージ上での公表を行っている。

○【B 委員】 審議会等の委員で、女性登用率について、目標値が30%に対して、令和5年度実績では、27.7%と目標値を下回っているが、女性の委員数を増加させるために、募集段階で工夫していることはあるのか。

● 自治基本条例制定前は、女性の委員数が少なく、女性登用率30%を目指すという考えで明記されたが、現在では、男女共同・平等という考え方が進み、女性のみ募集を行うことが難しい。工夫としては、町の施策として男女共同参画・パートナーシップの部分で推進をしている。今後は、各課等で審議会等での委員構成を考える際には、女性登用を促していけるように指導を行っていくことなど、町全体で女性の町政参画を目指していきたい。

○【B 委員】 令和5年度のあいかわ町民活動応援事業実績で、「寺子屋くすくすの木」の補助金額が30万円に対し、令和6年度の提案型協働事業では、「寺子屋くすくすの木」の町負担額が46万5千円となっているが、なぜ最初から高い補助額が得られる提案型協働事業を行わなかったのか。

● 令和5年度はあいかわ町民活動応援事業で行い、令和6年度は提案型協働事業へステップアップした形であり、「寺子屋くすくすの木」の団体代表者は、両事業を把握している中で、自主的に活動を行う形式で、実施するハードルが低いあいかわ町民活動応援事業から始めた経緯がある。総事業費増額の理由は、町内の交通事情の問題で、会場へ通うことのできない子どものため、団体内で送迎サービスを提供するための費用を計上したことにより、増額したものである。

審 議 経 過

(3 / 5)

○【B 委員】 あいかわ町民活動応援事業で活動をしている愛川町小中学校草刈隊の事業は、愛川町シルバー人材センターの事業内容と重なるところがあり、仕事を奪ってしまう可能性があるが、地元の小中学校を地元の団体が環境整備活動を自主的に行っているということで、素晴らしい取り組みだと思い、今後も継続していったらいい。

○【B 委員】 行政評価制度の外部評価について、昨年度は10事業のうち、3事業が外部評価に進み、行政改革推進委員会で審議されたと報告を受けたが、外部評価に進む選定基準はあるのか。

● 外部評価に進む正式な選定基準はないが、町側から改善に繋がりやすい事業を候補として、委員へ投げかけを行うなどの対応を行っている。

○【B 委員】 その外部評価の中では、実際に廃止となった事業の事例はあるのか。

● 令和5年度実績では、外部評価を行った3事業の中で、「高等学校等教育資金利子補給事業費」は、事業廃止の方針となり、「在宅障害者福祉手当支給事業費」は、事業内容の改善を行う方針となっており、毎年廃止や改善といった評価が出ている。

○【会長】 先ほど意見内で上がった愛川町シルバー人材センター関連で、理事を務めているため補足をするが、現在、約360人の登録があり、年間10人から20人程度がシルバー人材センターへ入会している状況である。依頼内容については、工業団地やスーパーマーケットの関連の依頼が、全体の約70%となっており、その他は、町役場や個人からの依頼となっている。近年、個人から草刈りの依

審 議 経 過

(4 / 5)

頼が増加しており、手が回っていない状況であるため、行政区から、シルバー人材センターへの入会促進活動も検討している状況にある。そのため、愛川町小中学校草刈隊が、町内小中学校の環境整備の役割を担ってくれていることは、ありがたいことである。

(2) 令和6年度あいかわ町民活動応援事業について（協働事業審査部会報告）

●【事務局説明】（「資料2」、スライドによる事業概要と活動状況の説明）

○【A委員】 「はねやすみ（不登校・ひきこもり親の会）」の事業について、不登校・ひきこもりの子どもを持ち、悩みを抱えている親御さんがいる中、悩みを話すことができる場所があることで、親の孤立を防ぐことができる良い事業なので、今後も前進して行って欲しい。

○【B委員】 あいかわ町民活動応援事業に応募し、審査された事業の採否の決定の際に、採用される事業の補助額が予算額を超える場合は、予算範囲内の金額に調整されるのか。

● あいかわ町民活動事業への応募前に、応募団体と打ち合わせを行う機会を設け、申請書の作成方法も含めて、説明を行っている。その中で、事前に理解を得た上で申請いただき、審査部会に進んでもらっている。

○【B委員】 あいかわ町民活動応援事業の手引きの補助対象団体の欄で、3人以上の町民を含む5人以上の構成員で組織されていることと明記されているが、町内在勤者も町民に含まれるということでもいいのか。

● 自治基本条例上、町民等の中には、町内在勤者も含まれているが、あいかわ町民

審 議 経 過

(5 / 5)

活動応援事業等の公益活動に関しては、地元の人が中心になって活動いただくという趣旨で捉え制度設計をしているため、町内在住者3名以上というお願いをしている。今後は、町内在勤者も町民に含めるなど、柔軟に対応していくことも検討していきたい。

(3) あいかわ町民活動サポートセンターの運営状況について

●【事務局説明】 (「資料3」、スライドによる運営状況の説明)

○【会長】 田代区や六倉区等の自治会も町民活動サポートセンターへ登録しており、登録団体となることで、町民活動サポートセンターのホームページを通じて、イベントの告知ができ、町民サポートセンター内の設備にある印刷機を使用し、チラシの印刷ができたりと利点がある。もっと多くの方々に知ってもらいたい。田代区では、今年盆踊りを行った際には、町内に実家あるなど、以前は町内に住んでいた家族もホームページのイベント告知を見て、当日参加していただいた事例もあり、団体のPRにも繋がっている。町民活動サポートセンターの運用方法次第では、愛川町についても、もっと多くの方に知ってもらえるのではないかと思う。

(4) その他

●【事務局説明】 (報酬支払等について説明)

(会議録の承認は、会長に一任することで決定する)

8 閉 会

会長(委員長)
署名欄

古座野茂夫

愛川町町民参加推進会議委員名簿

令和6年9月30日現在

No.	氏名	選出区分	出欠
1	すずき けんいち 鈴木 健一	公募による町民等	出席
2	かわむら まさお 川村 征雄		出席
3	こぎの しげお 古座野 茂夫	区長会の代表者（町区長会長）	出席
4	さいとう ますお 齋藤 増雄	関係団体等 の代表者	町農業委員会農地副部長
5	ばば えみこ 馬場 恵美子		愛甲商工会女性部副部長
6	おじま えいいち 小嶋 栄一		厚木愛甲地域連合幹事
7	よこやま ひろゆき 横山 博之		町地区健全育成組織連絡協議会宮本いずみ会会長
8	こそね きよし 小曾根 潔		町民生委員児童委員協議会北地区副会長
9	さかがみ せつこ 坂上 節子		町婦人団体連絡協議会会計
10	おぐら かずお 小倉 一夫	学識経験を有する者	出席

(敬称略)

アドバイザー

辻 琢也 一橋大学教授（欠席）